

公益社団法人日本リハビリテーション医学会
平成27年度 第7回理事会 議事録

日 時 平成28年3月19日(土) 12時00分～16時00分
場 所 都市センターホテル 706
構成員 理事20名、監事3名
出席者 理事長 水間正澄
副理事長 安保雅博 才藤栄一 出江紳一
理 事 浅見豊子 石川 誠 近藤和泉 佐浦隆一
志波直人 島田洋一 白倉賢二 千田益生
帖佐悦男 道免和久 芳賀信彦 正門由久
監 事 朝貝芳美 木村彰男 田島文博
欠席者 理 事 久保俊一 上月正博 菅本一臣 椿原彰夫
陪席者 第53回学術集会幹事 池田 巧
事務局幹事 川手信行
専門医会幹事長 大串 幹

議 題

I 報 告

(1) 業務執行理事会報告

水間理事長から平成27年度第7業務執行理事会(Web会議)の報告があった。

(2) 会員現況報告

水間理事長から会員現況の報告があった。

(3) 寄附金の受け入れについて

安保副理事長から、学会誌に挟み込んだ寄附金振込依頼書を使った会員からの1～2月に寄附金受入れ状況について報告があった。

(4) 選挙管理委員会報告

芳賀理事から2月12日に開票が行われた代議員選挙について報告があった。

(5) その他

①全国リハビリテーション医療関連団体協議会

水間理事長から第8回会長会議の報告があった。

②大規模災害リハビリテーション関連団体協議会(JRAT)

佐浦理事から第32回JRAT戦略会議の報告があった。

③日本医学会評議員会及び日本医学会連合加盟学会連絡協議会

水間理事長から、第83回日本医学会定例評議員会及び平成27年度日本医学会連合加盟学会連絡協議会について、次のとおり報告があった。
日本医学会評議員会では日本医学会への加盟に関して議論があり、28

学会からの申請に対して3学会の加盟を認めたが、すでに加盟している学会と似通った名称などの学会からの申請などがあり、入会について検討していく必要がある。日本医学会連合加盟学会連絡協議会では、日本医学会連合の課題と役割について各部会から報告が行われた。

④第2回日本専門医機構社員総会

社員である理事長に代わり出席した白倉理事から、日本専門医機構の定例社員総会について次のとおり報告があった。社員総会では、出された議案のうち27年度事業報告は承認されたが、28年度事業計画及び予算は新専門医制度の進め方に関して強い異議が出たために承認されず、当面の暫定予算を承認し改めて社員総会を開催することとなった。

⑤事務局体制について

才藤副理事長から、定年退職と自己都合退職によって6月末までに5人の事務局員が退職することになり、その後の事務局機能のアウトソーシングに向けた事務局のあり方に関する方針について説明があった。引き続き事務局長から、後任として出向配置する職員3名の配置日等について説明があった。

Ⅱ 重要審議事項

(1) 平成28年度事業計画案について

才藤副理事長から、1月理事会での修正意見を基に見直しを行った平成28年度事業計画案について説明があり、審議の結果、案の通り事業計画を決定した。

(2) 平成28年度収支予算案について

安保副理事長から、1月理事会以降に事務局体制の見直し等に伴う平成28年度収支予算案修正案について次のとおり説明があった。事務局員の退職及びその補充に伴い人件費を削減し、業務委託費を増額した。またJARDデータベースの見直しに伴いJARD機能の新規データ登録を停止することから、JARD負担金支出を削除した。これらの修正に伴い、第1次原案に比べて経常費用が2,000千円程度増加することとなる。収支予算書（事業別区分経理の内訳書）によれば、公益目的事業会計における当期経常増減額が△16,000千円強となり、収支相償を満たす。これらの説明を基に審議の結果、平成28年度予算を修正案の通り決定した。

(3) 新専門医制度について

芳賀理事から新専門医制度に関する現時点での検討状況等についてそれぞれ説明があり、審議が行われた。

①学術集会における共通講習の取扱い、学術集会参加単位、学術集会における講演に関する審査について

・第53回学術集会における医療倫理・医療安全・感染対策講習会及び指導医講習会について、それぞれ受講料を2,000円徴収することとした。

・学術集会参加単位は、新専門医制度では領域別・共通講習の Kategorii ではなく「学術業績・診療以外の活動実績」の Kategorii となることから、新専門医制度に合わせて 140 単位を認める。

・学術集会における領域別講習・教育講演の審査は、専門医制度委員会が行い理事会に報告する。

②専門医共通講習の一次審査について

新専門医制度における各施設が実施する共通講習の一次審査について、機構から都道府県医師会を窓口とするが領域専門医委員会に依頼する方針であることから、リハ科領域では、4 カ月前までに申請を受け付ける旨案内を行い、申請があれば専門医制度委員会で審査し、理事会に報告することとした。

③リハビリテーション科専門医認定の審査結果について

試験的にリストアップした機構専門医への更新対象者 18 名が機構の 2 次審査を通過した旨説明があり、この更新者から機構への認定証発行負担額 10,000 円を含む 30,000 円を納入してもらうこととした。なおこの更新者のうち認定臨床医との同時更新対象者は、6 月の認定時には更新料を既納として取り扱うことを確認した。また、来年度以降機構への更新をどのようにしていくか、更新対象者にアンケートを取ることにした。

④リハ科専門研修プログラム一次審査について

2 月 15 日に提出を締切り、3 月 3 日～4 日に審査を行ったリハ科専門研修プログラムについて、審査経過について説明があった。研修プログラム総数は、人口比や専攻医受入実績、専門医合格実績などを勘案して 180～190 プログラム、最大でも 200 以内とする方針である。提出された研修プログラムのうち、千葉県亀田総合病院のプログラムは、千葉大との統合を要請したが断られたことから、①関連施設に大学を入れること、②私立病院の名前がプログラム名となるのはふさわしくないことから名称を変更することの条件を付けて調整を依頼する。また、東京北医療センタープログラムは、別のプログラムに入ってもらい、徳島病院のプログラムは徳島大学と統合してもらう。これらの調整を経て、最終の募集定員数は、芳賀理事と浅見理事とで協議して決めていくこととした。

⑤現行制度における研修開始時期について

現行制度での研修開始時期は、平成 28 年 10 月までに開始したものについて認めることとし、転科によって新専門医になる場合は、早めに転科を進めるようにアナウンスすることとした。

⑥専門医試験時期について

今後の専門医試験の時期については、専門研修が 3 月 31 日に終了することから 7 月中旬から下旬に実施し、認定時期が 4 月に遡及できない

ことから認定期間を6月にする方向で検討する。

Ⅲ 審議事項

(1) 平成28年度前期各種委員会員の委嘱・退任について

水間理事長から、各委員会担当理事から推薦のあった28年度前期各種委員会員の委嘱・退任案について説明があり、審議の結果、案の通り承認された。

(2) 平成28年度名誉会員及び功労会員の推薦について

水間理事長から平成28年度名誉会員及び功労会員の推薦について説明があり、審議の結果、名誉会員には住田幹男先生、木村彰男先生を推薦し、功労会員には現在77歳以上の会員10名を推薦することとした。なお、功労会員は今後年齢を基準に推薦していくと人数が相当多くなることから、新たな推薦基準を新理事会で検討していくこととした。

(3) Honorary/Corresponding Member の推薦について

水間理事長から、Honorary/Corresponding Member の候補者があれば、国際委員会に推薦を出して欲しい旨要請があり、了承された。

(4) 第53回学術集会の進捗状況について

欠席の久保学術集会会長に代わり、池田理事から第53回学術集会の準備状況について説明があり、了承された。なお、3月22日から事前登録の受付を開始する旨補足があった。

(5) 論文賞選考結果について

道免理事から平成27年度論文賞選考結果について説明があった。最優秀論文賞に選考された徳永誠先生の論文タイトルについて、「大腿骨頸部骨折」という用語については内部骨折だけを示すことになるから「大腿骨近位部骨折」などの表現にすべきであり、用語の修正を条件とすべきとの意見が出された。また優秀論文賞に選考された木村監事から、論文賞は若手の奨励という意味があるのではないかと意見が出されたが、規定上年齢制限がないことから受賞は問題ないことが確認された。これらの審議の結果、最優秀論文賞は編集委員会から用語修正を依頼することとし、案の通り承認された。

(6) 平成27年度専門医・認定臨床医試験について

芳賀理事から平成27年度専門医試験及び認定臨床医試験結果について説明があった。専門医試験の受験者は104名のうち96名が合格と判定したが、専門医試験においてボールペンで回答した受験者がおり、KV委員会ではHBの鉛筆を使用すべきところルールを逸脱した回答であることから、回答としては合格の範囲であるが不合格とした旨説明があった。これに対し、ルールを守れていないのは問題であるが、合格ラインをクリアしているのであれば当該受験者に厳重注意を行ったうえで合格とすべきとの意見が出され、審議の結果、同受験者を含む97名を合格とし、問

題となった受験者には理事長名で注意を行うこととした。また、認定臨床医は74名の受験で72名を合格と判定した旨説明があり、審議の結果、案の通り承認された。

(7) 厚労省後援研修運営委員の推薦について

水間理事長から、社会保険等委員会の石川理事と協議し、2月末が推薦期限となっているがんのリハビリテーション研修運営委員として、宮越浩一先生及び小山照幸先生を、リンパ浮腫研修運営委員として近藤国嗣先生を推薦した旨説明があり、審議の結果、案のとおり承認された。

(8) 日本医療安全調査機構ブロック担当者の推薦について

水間理事長から、2月末が推薦期限となっていた医療事故調査に協力するためのブロック担当者を地方会からの推薦をもとに機構に推薦した旨説明があり、審議の結果、案のとおり承認された。

(9) リハ医学ガイドについて

千田理事から、懸案となっていたリハ医学ガイドの最終案について説明があり、審議の結果、案の通り承認された。

(10) 各種規則改正案（会則検討委員会案）について

欠席の上月理事に代わって水間理事長から、次の規則改正について会則検討委員会において検討した内容の説明があり、審議の結果、案の通り承認された。

- ①定款施行細則改正案
- ②各種委員会の業務分担に関する内規改正案
- ③指導医講習会に関する内規改正案
- ④指導医講習会の実施に関する申し合わせ改正案
- ⑤専門医の教育研修に関する内規改正案

(11) 医師以外の正会員の入会について

欠席の上月理事に代わって水間理事長から医師以外の正会員の入会について説明があり、審議の結果、飯田貴俊先生の入会が承認された。

(12) 会員の入退会について

才藤副理事長から入退会者の説明があり、審議の結果、案のとおり承認された。

(13) 社会保険等委員会関係

石川理事から平成28年度診療報酬改定の内容及び研修会日程について説明があり、審議の結果、案の通り承認された。なお、診療報酬改定に関連して、HALの使用に関しては新リハ機器委員会で検討してもらうこととした。

(14) 安全管理・推進のためのガイドラインについて

近藤理事からリハ医療における安全管理・推進のためのガイドライン発行に関する企画案について説明があり、審議の結果、案の通り承認された。これにより、ガイドライン委員の選考を開始し、28年度秋には委員推薦

を行い、入札により出版を行うこととした。

(15) 第10回専門医会学術集会収支決算案について

大串専門医会幹事長から第10回専門医会学術集会の収支決算について説明があり、審議の結果、案の通り承認された。

(16) 第11回専門医会学術集会収支予算案について

大串専門医会幹事長から第11回専門医会学術集会収支予算案について説明があり、審議の結果、案の通り承認された。

(17) 資格認定委員会関係

①指導医の新規認定について

浅見理事から指導医の新規認定について説明があり、審議の結果、案のとおり承認された。なお、専門医になって3年以上経ちながら指導医となっていない者はどのくらいいるのか、指導医になれない理由は何か、論文が理由であればサポートする体制が必要であるとの意見が出され、指導医となっていない者の人数を調査することとした。

(18) 施設認定委員会関係

①研修施設の新規認定について

浅見理事から研修施設の新規認定について説明があり、審議の結果、案のとおり承認された。

②研修施設の資格喪失について

浅見理事から研修施設の資格喪失について説明があり、審議の結果、案のとおり承認された。

③研修施設の保留解除について

浅見理事から研修施設の保留解除について説明があり、審議の結果、案のとおり承認された。

(19) 実習研修会について

正門理事から、12月に開催された脊損尿路管理研究会について赤字分を補てんしたいとの説明があり、審議の結果、了承された。ただし、次回以降の開催については、参加費を見直すなどの工夫をするよう主催側に伝えることとした。

(20) 2-f (初回) 項目による生涯教育単位の申請について

正門理事から1件の生涯教育単位の申請について説明があり、審議の結果、案のとおり承認された。

(21) その他

①後援・協賛について

才藤副理事長から後援・協賛について説明があり、審議の結果、案のとおり承認された。

②日本医学会総会のあり方アンケートについて

出江副理事長から日本医学会から総会のあり方に関するアンケートについて説明があり、反映すべき意見があれば週明けまでに副理事長

長まで申し出てもらうこととした。

③脳科学関連学会連合評議員の推薦について

水間理事長から、日本脳科学関連学会連合から代表理事の推薦依頼が来ていることについて説明があり、代表理事の推薦は行わないがリハ医学会からの評議員として、理事長、安保副理事長、出江副理事長を推薦し5月の評議員会から交代したい旨説明があり、了承された。

IV 報告事項

(1) 各種委員会報告

平成28年1月22日から平成28年3月4日に開催された以下の委員会について、担当理事から報告があった。

- | | |
|------------|----------|
| ①編集委員会 | 道免理事 |
| ②評価・用語委員会 | 水間理事長（代） |
| ③施設認定委員会 | 浅見理事 |
| ④資格認定委員会 | 浅見理事 |
| ⑤試験委員会 | 芳賀理事 |
| ⑥障害保健福祉委員会 | 水間理事長（代） |
| ⑦広報委員会 | 千田理事 |

(2) 全国医学部リハ科調査について

才藤副理事長から、各理事からの意見を基に調査内容を整理し各大学に調査依頼を行っており、調査の集計は藤田保健衛生大学で行い集計結果は6月8日に開催される全国医学部リハ科連絡会で公表するとの報告があった。なお全国医学部リハ科連絡会の主担当は安保副理事長である旨補足があった。

(3) 英文ジャーナルの刊行について

道免理事から、英文ジャーナルの準備状況について、刊行に向けて科学研究費補助金国際情報発信強化に応募し3月14日にヒアリングがあったとの報告があった。また科研費を獲得できた場合には、Pub Med 掲載まで掲載料は無料とする計画である旨補足があった。なお、英文ジャーナルの刊行に向けて、4月1日から論文募集を行う予定である旨補足があった。

(4) 専門医会報告

大串専門医会幹事長から専門医会特別委員、各 SIG コアメンバー、筋電図・臨床神経生理 SIG の報告があった。

(5) RJN 報告

浅見理事から、仙台で開催された日本循環器内科学会における男女共同参画の企画でリハ医学会における RJN の取り組みの報告を行った旨説明があった。

(6) JARD 報告

近藤理事から、JARD データベースの取扱いについて、3月に4学協会代表出席のもとで開催された JARD 協議会において、新規データの入力を今年度で終了し来年度は二次利用のみ行うこと、新たなデータベース構築を全国リハ医療関連団体協議会データベース委員会と協議しながら進めることを説明し、了承された旨報告があった。

- (7) 2-e、2-f（2回目）、2-g 項目による生涯教育研修単位の申請について
正門理事から 2-e、2-f（2回目）、2-g 項目による生涯教育研修単位の申請に対する審議結果について報告があった。
- (8) 病態別実践リハ医学研修会について
正門理事から内部障害研修会の実施報告及び平成28年度研修会計画について報告があった。
- (9) 一般医家に役立つリハ医療研修会について
正門理事から北海道で開催する一般医家に役立つリハビリテーション医療研修会開催計画について報告があった。
- (10) 臨床研修等医師向けリハ研修会について
島田理事から平成28年度臨床研修医等医師向けリハ研修会の概要について報告があった。
- (11) その他
 - ①心理職国家資格化の状況
帖佐理事から心理職国家資格化の状況について報告があった。引き続き才藤副理事長から、日本心理臨床研修センターが試験・研修機関に指定されたことから、早急に椿原理事を試験委員として推薦したい旨説明があり、了承された。
 - ②社会保障審議会報告
朝貝監事から障害者総合支援法施行3年後の見直しについて報告があった。
 - ③AOSPRM Executive Board Meeting 報告について
近藤理事から2月20日に開催されたミーティングについて報告があった。
 - ④平成28年度理事会日程について
水間理事長から28年9月17日に開催される第4回理事会の会場が変更となる旨報告があった。
 - ⑤平成28年度日本義肢装具学会飯田賞候補者推薦について
浅見理事から推薦の依頼があった。
 - ⑥2016年度 GSK 医学教育事業助成について
水間理事長から、GSK が学会で行う医学教育事業助成に応募するために、教育委員会が担当していただきたい旨説明があり、了承された。
 - ⑦脳卒中ガイドライン論文引用の扱いについて
水間理事長から、11月理事会で報告した脳卒中ガイドラインの英語

論文引用の訂正に関するその後の状況について報告があり、改めて次回理事会までに整理をして報告することとした。

以上